



学校だより

(11月号)平成29年10月30日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校

- ・進んで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

《今月の生活目標》やさしい言葉づかいをしよう

研究の成果

校長 清水 肇

10月18日(水)に「国語力向上」の研究発表会を開催しました。他校から多くの先生方が参加して2年生と6年生の国語の授業をみていただきました。

さて、「国語力」とは何でしょう。さいたま市では、「自分の頭で考え、その考えを自分の言葉で適切に表現する。」「言葉を大切に、相手を大切に自分の考えを伝え合う。」を目指す子ども像としています。つまり、「文章を読んで理解する。」「漢字が読める、書ける。」だけに留まらず、その先にある表現や伝え合いを目標としています。

新開小学校でも、「仲間と共に学び合う学習集団づくり」を研究主題として、副題を「思考力・判断力・表現力の育成をめざす言語活動」「論理的に思考する考える授業づくり」として、2年間研究を進めてきました。

例えば、6年生の授業では、物語を読んで本の帯(主題を基にキャッチコピーを考える)を作るという活動を行いました。帯を作るために、主人公の心情の変化を考えたり、優れた文章表現を探したり等、より深く物語を読み取る必要があります。

また、2年生の授業では、最後に音読発表会をする活動を行いました。より豊かに音読するために、文を付け加えたり、昔の表現と今の表現を比較したり等、想像を広げながら読む必要があります。

これらの活動で欠かせないことは、「仲間と豊かにかかわること」です。一人の思いや考えだけでは広がらないことでも、仲間とかかわることで、新しい見方・考え方を発見し学習に広がりや深まりがみられるようになります。新開小学校でも、このことを重視して、国語の学習だけでなく多くの学習で少人数での伝え合いの場面を取り入れています。

このような学習を繰り返す中で、徐々にではありますが、



6年生の授業の様子



2年生の授業の様子

自分の考えをよりよく相手に伝わるように、言葉を選んだり、資料を見せながら話したり等の工夫ができるようになりました。また、相手の意見をうなずきながら聞いたり、褒めたりする等の聞き方の工夫もできるようになりました。そして、自然にお互いに認め合い、協力する温かい関係が築けるようになってきました。

この力は、将来にわたって役立つものです。今後も新開小学校では、このような学習を進めていきたと考えています。